

令和5年12月8日

智頭町議会議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 仲井 荃
西尾 寿樹
岡田 光弘
宮本 行雄
田中 賢
谷口 翔馬
波多 恵理子
大河原 昭洋
安道 泰治
谷口 雅人

議員派遣結果報告書

令和5年9月20日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1. 期 日

令和5年10月13日（金）

2. 場 所

八頭郡八頭町船岡539番地1 船岡地区公民館

3. 内 容

鳥取県東部町議会議長会議員研修会

講 演

演題：「地方自治体におけるDXの取組」

講師：鳥取県政策戦略本部 デジタル局長 下田耕作氏

4. 所感等

人口減少による生産年齢人口減が地域で深刻化する中、その課題解決の手段とし

て注目されているのが「デジタル」「DX」であり、全国どこでも誰でも便利で暮らせる社会の実現に向けて取組が始まっている。

より一層デジタル化を加速させたのが新型コロナウイルス感染症の感染拡大であり、私たちの日常生活や、経済活動、教育現場などあらゆる場面において、非接触や参集型の対面会議からオンライン会議などの新しい価値観・行動に大きな影響を与え、急激なパラダイムシフトを生じさせたということだった。

動き出した自治体として、本町のDXの取り組みである、共助交通「のりりん」や「コネクテッドカー」が紹介された。その他でも、鳥取市の「とりなび」や日南町の「たったもカード」なども紹介された。この研修会を通して、加速するデジタル化の中で住民サービスとして一番に何が求められているのか考えることが重要であり、DXを推進していくうえで、「デジタル」と同時に「リアル」も大事であることから、この両方をうまく使い分けていくことが重要と再認識した。

鳥取県の取り組みの中では「県民の利便性の向上」「行政コストの削減」「直面する課題にどう応向き合うのか」という3つの視点が明確化されているので成果（76, 200時間／月の削減、電話聞き取り30分から1分へ短縮など）が上がっていると思われる。本町においても初期の目的を明確化して可視化できるような取り組みが求められると感じた。